

岐阜県鉱工業指数 (平成21年12月分)

生産指数 前月比5.2%の上昇

1 概況

平成21年12月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数でみると、その他工業、情報通信機械工業等が低下したものの、一般機械工業、金属製品工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は5.2%増と4カ月連続で上昇した。また、出荷指数も8.0%増と4カ月連続で上昇し、在庫指数は1.6%減と3カ月連続で低下した。

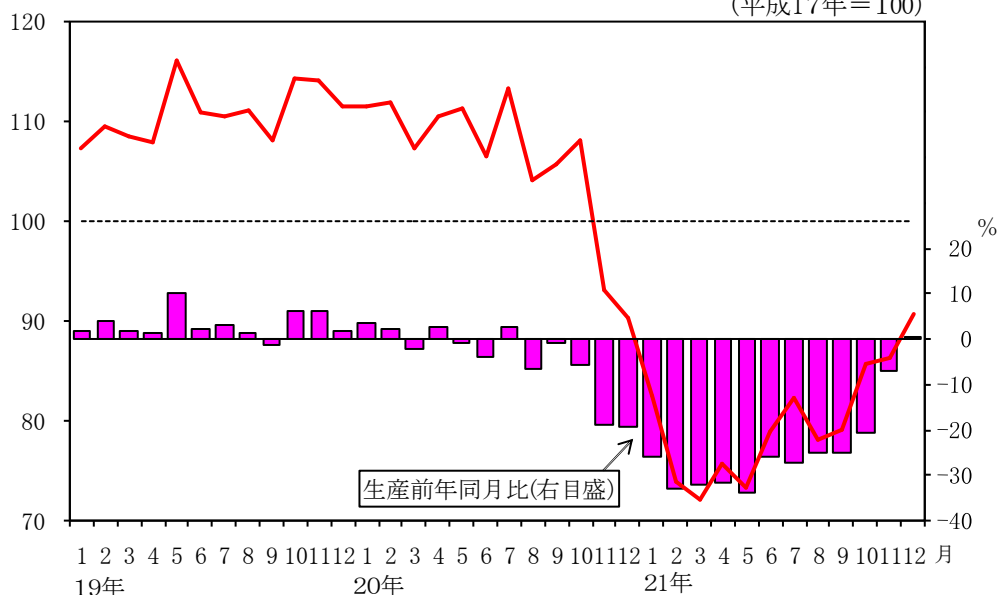
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は0.4%増となり、17カ月ぶりに前年を上回った。

(平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	90.7	5.2	90.9	0.4
出荷	91.4	8.0	92.1	△ 0.9
在庫	107.8	△ 1.6	109.7	△ 8.5

鉱工業指数(生産)推移

(平成17年=100)



注：指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、かみそり、鉄管継手等が減少したものの、橋りょう、ボルト・ナット等が増加したため、9.1%増と上昇に転じた。また、出荷は7.9%増、在庫は17.4%増と、ともに上昇に転じた。

機械工業の生産は、携帯電話、印刷機械等が減少したものの、乗用車ボデー、電子回路基板等が増加したため、2.6%増と7カ月連続で上昇した。また、出荷は12.0%増と3カ月連続で上昇し、在庫は0.1%増と上昇に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、遠心力鉄筋コンクリート製品、耐火れんが等が減少したものの、ガラス製品（容器類）、生コンクリート等が増加したため、3.9%増と上昇に転じた。また、出荷は3.5%増、在庫は0.8%増と、ともに上昇に転じた。

化学工業の生産は、医薬品等が減少したものの、触媒（自動車排気ガス浄化用）、無水酢酸等が増加したため、3.1%増と4カ月連続で上昇した。また、出荷も2.0%増と4カ月連続で上昇し、在庫は8.3%減と3カ月連続で低下した。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製容器、プラスチック製板等が減少したものの、プラスチック製フィルム、ホース（プラスチック製）等が増加したため、1.5%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷も0.5%増と前月に引き続き上昇し、在庫は1.1%減と3カ月連続で低下した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	98.0	9.1	6.4	97.8	7.9	12.4	76.4	17.4	△ 14.7
機械工業	85.5	2.6	△ 5.7	91.4	12.0	△ 6.9	126.6	0.1	△ 11.1
一般機械工業	64.7	9.3	△ 24.6	74.8	9.7	△ 17.3	-	-	-
電子部品・デバイス工業	90.8	11.1	75.8	93.6	12.2	73.1	-	-	-
輸送機械工業	112.4	5.5	△ 2.4	103.6	4.8	△ 0.3	-	-	-
窯業・土石製品工業	71.6	3.9	0.3	70.3	3.5	△ 6.3	87.8	0.8	△ 24.7
化学工業	134.7	3.1	19.0	127.1	2.0	15.2	91.4	△ 8.3	△ 14.6
プラスチック製品工業	97.1	1.5	10.3	101.7	0.5	7.6	83.8	△ 1.1	△ 17.6

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

